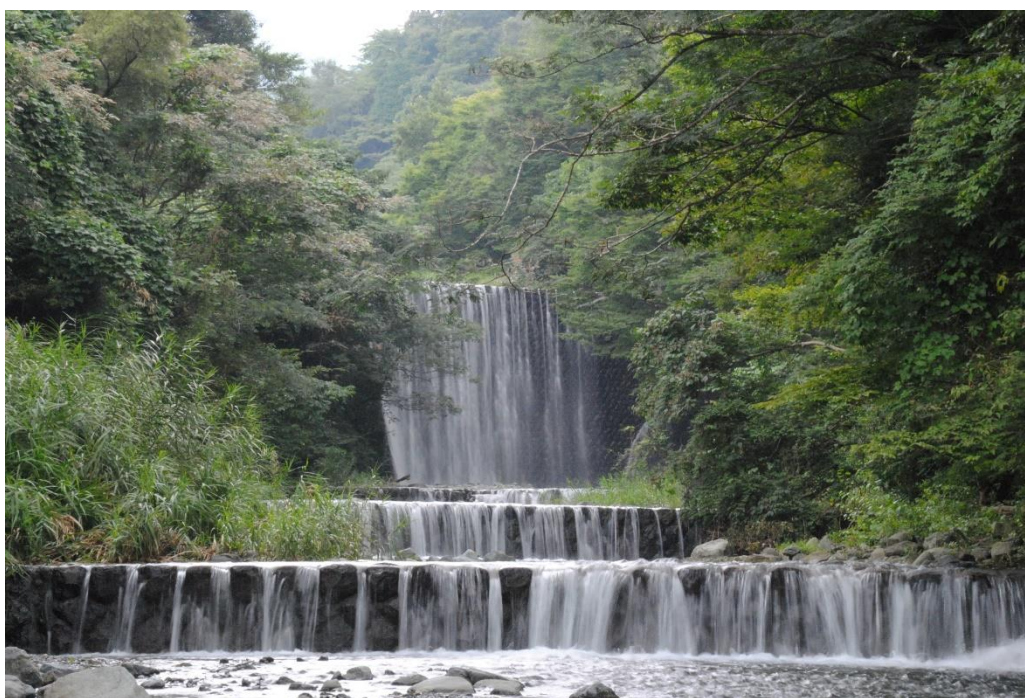


予算のあらまし

令和3年度（2021年度）

新たな都市像

「水とみどりに育まれ誰もが輝く暮らしよい都市(まち)」の
実現に向け、「ふるさと秦野」を創造する予算



秦 野 市

目 次

1	市政の運営方針	1
2	予算の概要	1
3	一般会計予算の状況	
	(1) 歳入の概要	3
	(2) 歳出の概要	5
	(3) 一般会計当初予算額の推移	7
	(4) 市債及び基金現在高の状況	8
	(5) 令和3年度の主な取り組み	10
4	水道事業会計予算の状況	15
5	公共下水道事業会計予算の状況	17
6	国民健康保険事業特別会計予算の状況	19
7	介護保険事業特別会計予算の状況	20
8	後期高齢者医療事業特別会計予算の状況	21
9	資 料	22

表紙の写真は、やまのかみえんてい山ノ神堰堤（堀山下・戸川）です。昭和7年に竣工し、過去の度重なる土砂災害を防ぐとともに、水とみどりに育まれた本市を見守り続けています。

1 市政の運営方針

令和3年度は、東京五輪の開催や新東名高速道路（秦野区間）の開通など、本市が飛躍する絶好の機会を迎えるとともに、「ふるさと秦野」の新時代を創造していくための新総合計画「はだの2030プラン」がスタートする重要な一年となります。

新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大が続いている中、これまで本市が総力を挙げて実施してきた「健康と医療」、「日々の暮らし」、「地域経済」を守る3本柱の対策を充実させ、市民と共にこの未曾有の危機を乗り越えていきます。

また、激甚化する自然災害の教訓を生かし、気候変動に対応した災害に強いまちづくりを進めます。

さらに、未来の子どもたちへ私たちの命の源である「水とみどり」を引き継ぐことができるよう、2050年までに本市の二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」に挑戦していきます。

新たな都市像「水とみどりに育まれ誰もが輝く暮らしよい都市（まち）」の実現に向け、市民力・職員力を結集し、市民一人ひとりの意見を大切にしながら、市政運営に取り組みます。

2 予算の概要

新たな都市像の実現に向け、「ふるさと秦野」を創造する予算

歳入は、新型コロナウイルス感染症の影響による個人・法人市民税の大幅な減収などで、市税全体で、前年度と比べ、過去最大となる15億1,000万円の減収を見込んでいます。一方で、歳出は、障害児・者サービスなどの福祉施策の充実や超高齢社会の到来により、社会保障費が増加し、依然として厳しい財政状況が続きます。

そのような中でも、令和3年度は、「市民の命と暮らしを守る施策」を最優先に位置付けるとともに、表丹沢の魅力づくりや小田急線4駅周辺のにぎわいづくりなど、地域の活性化につながる施策を柱に据え、新たな都市像の実現に向け、「ふるさと秦野」を創造する予算として編成しました。

令和3年度予算における一般会計、企業会計及び特別会計の6つの会計の予算総額は933億7,600万円で、前年度と比べ、10億6,100万円（1.1%）の増となりました。

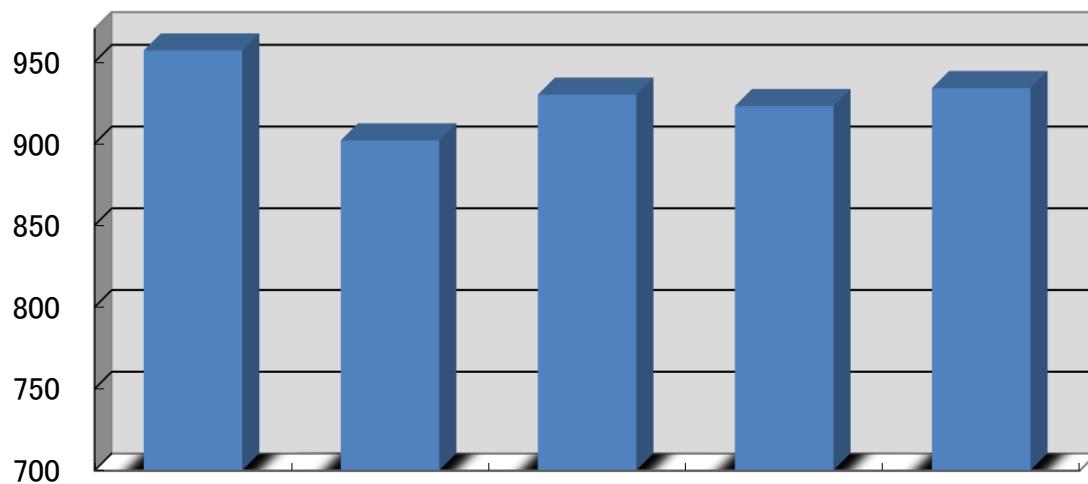
【令和3年度会計区分別予算構成】

(単位:千円、%)

会計区分	令和3年度 当初予算	令和2年度 当初予算	比較		構成比		
			増減額	増減率	令和3年度	令和2年度	
一般会計	52,430,000	50,730,000	1,700,000	3.4	56.2	54.9	
企業会計	水道事業	3,230,000	3,611,000	△ 381,000	△ 10.6	3.5	3.9
	公共下水道事業	5,247,000	5,525,000	△ 278,000	△ 5.0	5.6	6.0
特別会計	国民健康保険事業	17,020,000	17,324,000	△ 304,000	△ 1.8	18.2	18.8
	介護保険事業	12,903,000	12,660,000	243,000	1.9	13.8	13.7
	後期高齢者医療事業	2,546,000	2,465,000	81,000	3.3	2.7	2.7
計	93,376,000	92,315,000	1,061,000	1.1	100.0	100.0	

【最近5年間の当初予算総額の推移】

(億円)



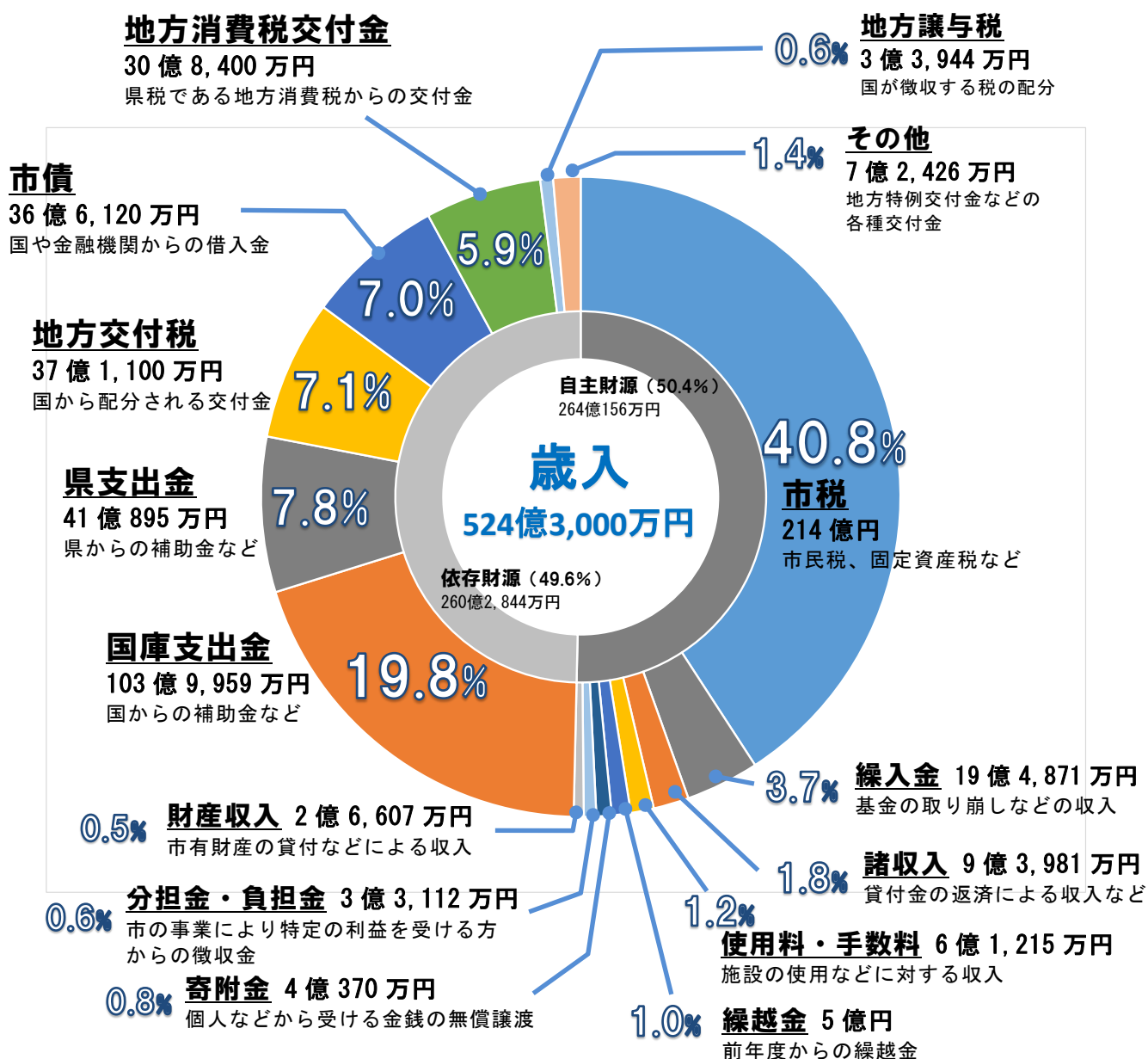
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
予算額	956億9,700万円	901億6,900万円	930億3,700万円	923億1,500万円	933億7,600万円
対前年度伸率	1.1%	△5.8%	3.2%	△0.8%	1.1%
市民1人 当たりの額	58万9,540円 (162,325人)	55万7,314円 (161,792人)	57万7,045円 (161,230人)	57万4,348円 (160,730人)	58万3,717円 (159,968人)

※ () 内の人数は、各年度3月末日現在の住民基本台帳人口

3 一般会計予算の状況

(1) 歳入の概要

歳入の款別の構成比で最も大きい市税については、生産年齢人口の減少に加え、新型コロナウイルス感染症や法人市民税の税制改正による税率の引き下げの影響などを受け、減収を見込んだことから、前年度と比べ、15億1,000万円減の214億円となっています。そのため、税収不足を補てんする地方交付税のうち普通交付税は、前年度と比べ、6億4,000万円増の35億8,000万円を見込むとともに、市債は、前年度と比べ、4億4,420万円増の36億6,120万円としました。



【一般会計当初予算（歳入）の前年度比較】

(単位:千円、%)

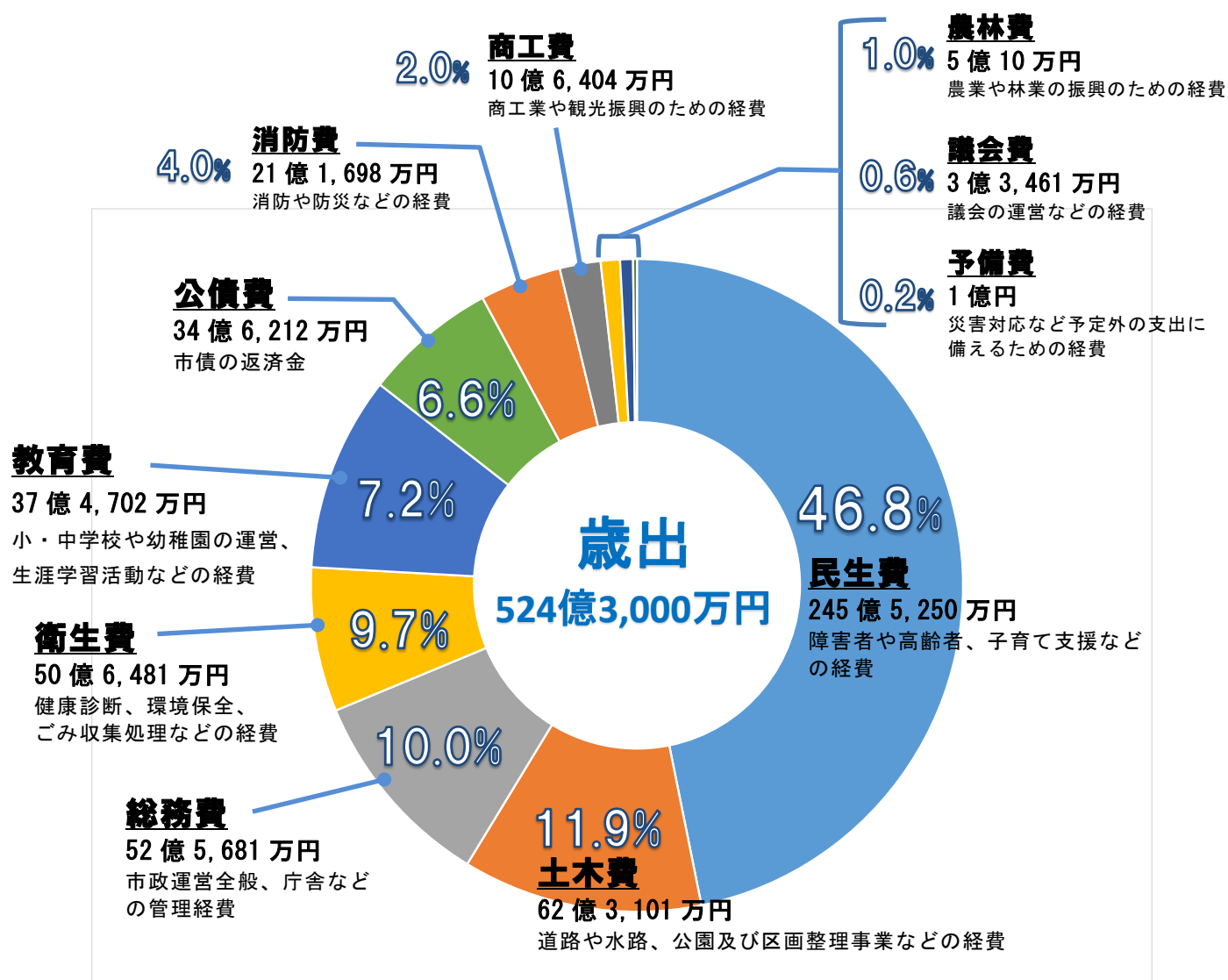
款	令和3年度	令和2年度	比較		構成比	
			増減	伸率	令和3年度	令和2年度
1 市 税	21,400,000	22,910,000	△ 1,510,000	△ 6.6	40.8	45.2
2 地 方 譲 与 税	339,440	364,840	△ 25,400	△ 7.0	0.6	0.7
3 利 子 割 交 付 金	10,000	10,000	0	0.0	0.0	0.0
4 配 当 割 交 付 金	111,000	111,000	0	0.0	0.2	0.2
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	141,000	77,000	64,000	83.1	0.3	0.2
6 法 人 事 業 税 交 付 金	77,000	60,000	17,000	28.3	0.2	0.1
7 地 方 消 費 税 交 付 金	3,084,000	3,122,000	△ 38,000	△ 1.2	5.9	6.2
8 ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	77,000	82,000	△ 5,000	△ 6.1	0.2	0.2
9 環 境 性 能 割 交 付 金	113,000	113,129	△ 129	△ 0.1	0.2	0.2
10 地 方 特 例 交 付 金	175,000	165,000	10,000	6.1	0.3	0.3
11 地 方 交 付 税	3,711,000	3,071,000	640,000	20.8	7.1	6.1
12 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	20,261	20,520	△ 259	△ 1.3	0.0	0.0
13 分 担 金 及 び 負 担 金	331,119	329,106	2,013	0.6	0.6	0.6
14 使 用 料 及 び 手 数 料	612,144	668,398	△ 56,254	△ 8.4	1.2	1.3
15 国 庫 支 出 金	10,399,590	8,983,330	1,416,260	15.8	19.8	17.7
16 県 支 出 金	4,108,952	4,265,253	△ 156,301	△ 3.7	7.8	8.4
17 財 産 収 入	266,070	494,093	△ 228,023	△ 46.1	0.5	1.0
18 寄 附 金	403,702	303,903	99,799	32.8	0.8	0.6
19 繰 入 金	1,948,712	910,219	1,038,493	114.1	3.7	1.8
20 繰 越 金	500,000	500,000	0	0.0	1.0	1.0
21 諸 収 入	939,810	952,209	△ 12,399	△ 1.3	1.8	1.9
22 市 債	3,661,200	3,217,000	444,200	13.8	7.0	6.3
歳 入 合 計	52,430,000	50,730,000	1,700,000	3.4	100.0	100.0

(2) 歳出の概要

歳出の款別（目的別）の構成比では、障害児・者サービスなどの福祉施策の充実や超高齢社会の影響から民生費が46.8%と最も多くを占めています。

前年度との比較では、衛生費がワクチン接種を始めとする新型コロナウイルス感染症対策により、10億1,427万円増の50億6,481万円となった一方で、教育費が令和2年度に西中学校多機能型体育館施設が完成したことにより、2億1,144万円減の37億4,702万円となっています。

【一般会計当初予算（目的別歳出）】

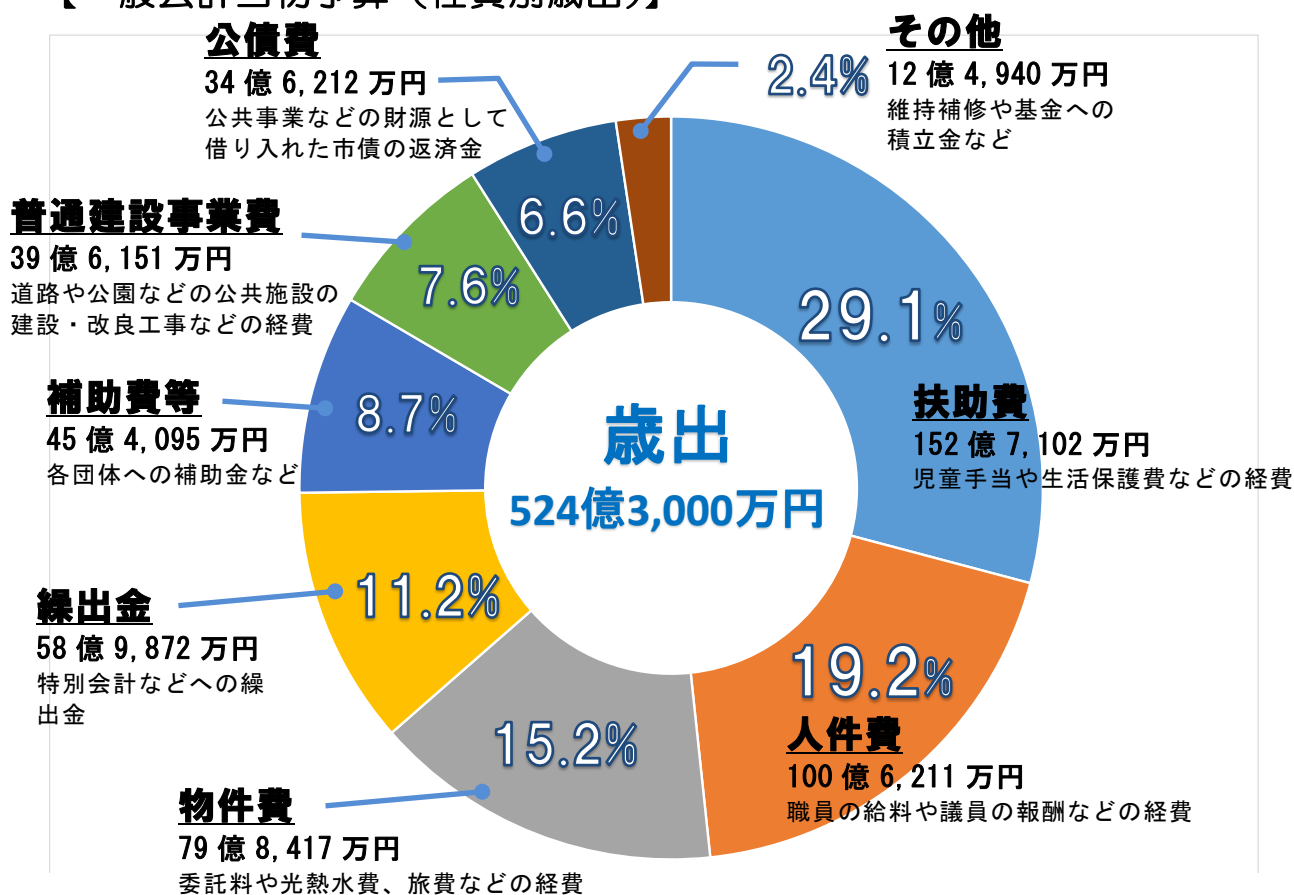


【一般会計当初予算（目的別歳出）の前年度比較】

(単位:千円、%)

款	令和3年度	令和2年度	比較		構成比	
			増減	伸率	令和3年度	令和2年度
1 議会費	334,609	351,452	△ 16,843	△ 4.8	0.6	0.7
2 総務費	5,256,806	5,276,590	△ 19,784	△ 0.4	10.0	10.4
3 民生費	24,552,497	23,855,183	697,314	2.9	46.8	47.0
4 衛生費	5,064,811	4,050,542	1,014,269	25.0	9.7	8.0
5 農林費	500,102	469,261	30,841	6.6	1.0	0.9
6 商工費	1,064,041	1,136,667	△ 72,626	△ 6.4	2.0	2.2
7 土木費	6,231,010	5,965,238	265,772	4.5	11.9	11.8
8 消防費	2,116,983	2,217,383	△ 100,400	△ 4.5	4.0	4.4
9 教育費	3,747,017	3,958,453	△ 211,436	△ 5.3	7.2	7.8
10 公債費	3,462,124	3,349,231	112,893	3.4	6.6	6.6
11 予備費	100,000	100,000	0	0.0	0.2	0.2
歳出合計	52,430,000	50,730,000	1,700,000	3.4	100.0	100.0

【一般会計当初予算（性質別歳出）】

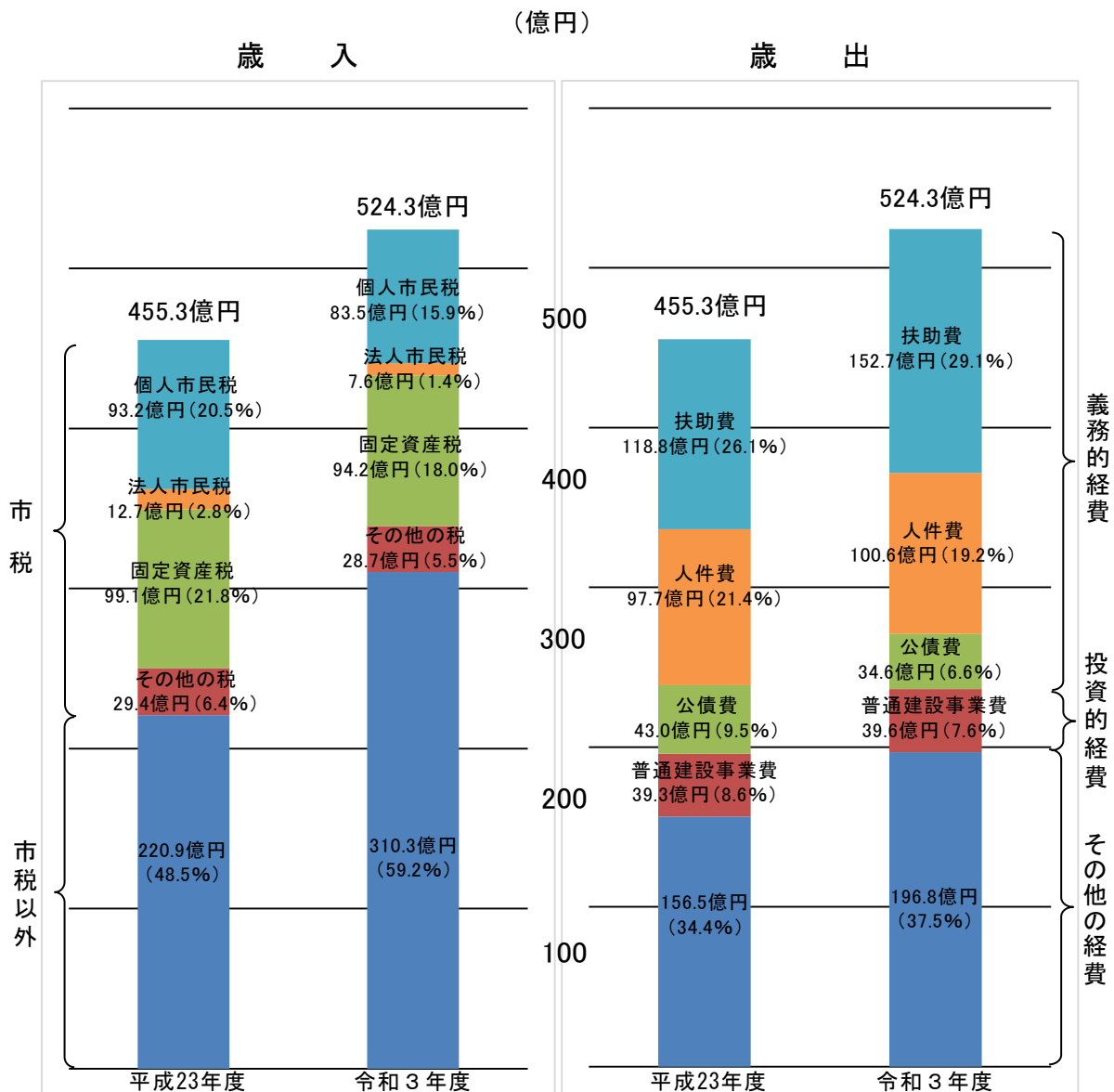


(3) 一般会計当初予算額の推移

一般会計当初予算額を10年前と比較すると、69億円（15.2%）増えています。

歳入では、市税が20億4,000万円（8.7%）の減となっている一方、地方交付税、国庫支出金及び県支出金といった依存財源の増により、市税以外が89億4,000万円（40.5%）の増となっています。

歳出では、これまで市債の発行額抑制や利子負担軽減に取り組んできた効果により公債費が8億4,000万円（19.5%）の減となる一方、超高齢社会の到来に伴い、医療給付や福祉の手当などに支出される扶助費が33億9,000万円（28.5%）の増となっています。



※ () 内の数値は構成比

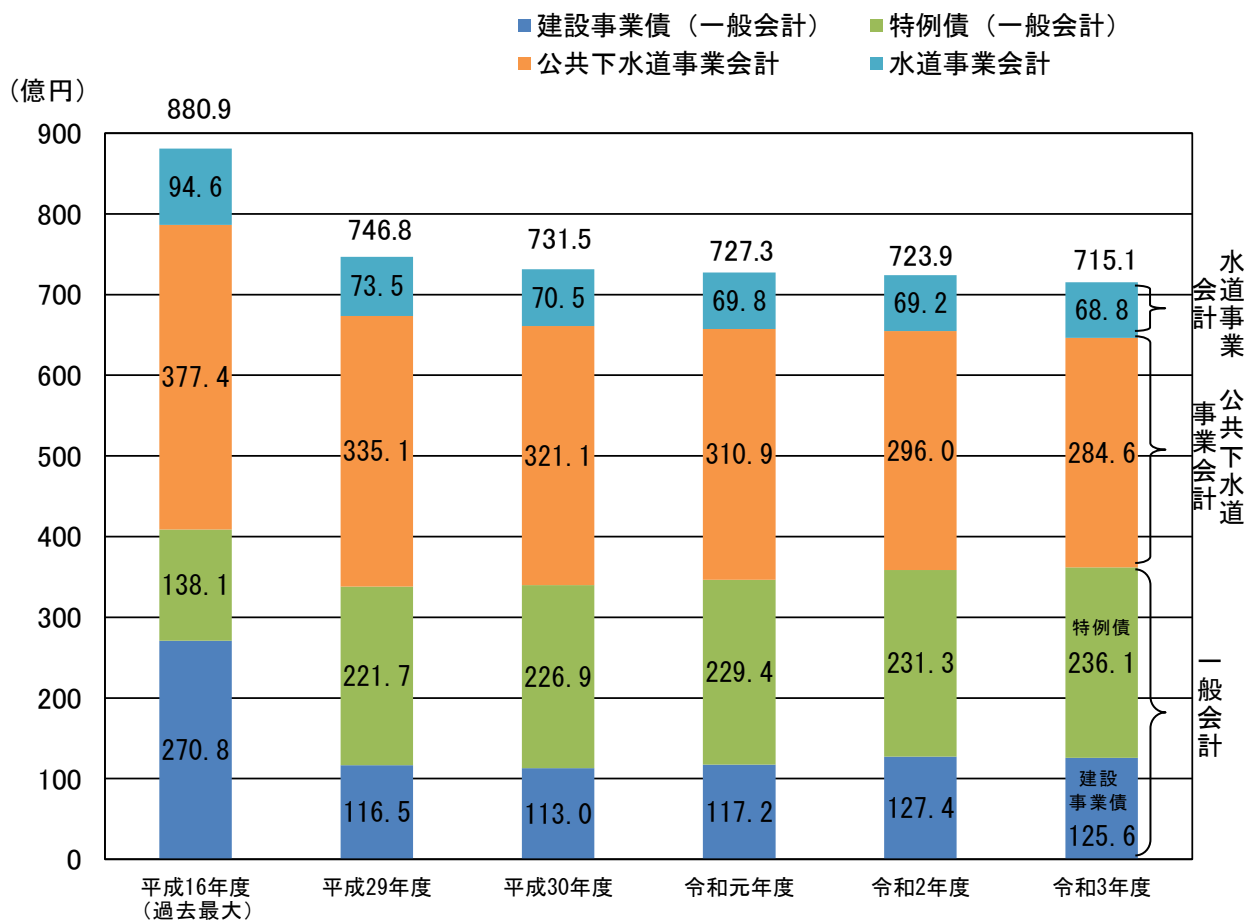
(4) 市債及び基金現在高の状況

○市債の状況

本市では、将来世代に過度な負担を残さないよう、中長期的な見通しを立てて、計画的に市債現在高の縮減を図ってきました。令和3年度末では、一般会計において特例債に含まれる臨時財政対策債の借入れが増加する一方、公共下水道事業会計における企業債の償還が進んでいることから、全会計では、前年度に比べ、8億7,435万円（1.2%）の減となる715億1,472万円を見込んでいます。過去最大であった平成16年度末と比較すると、165億7,678万円（18.8%）の縮減となっています。

なお、臨時財政対策債は、市が標準的な行政サービスを提供するに当たり、不足する財源を補う普通交付税の代替財源として借り入れるもので、一般会計の市債全体に占める割合は6割を超えています。

【市債現在高の推移及び推計】



※令和元年度までは各年度末実績、令和2年度及び3年度は年度末見込み

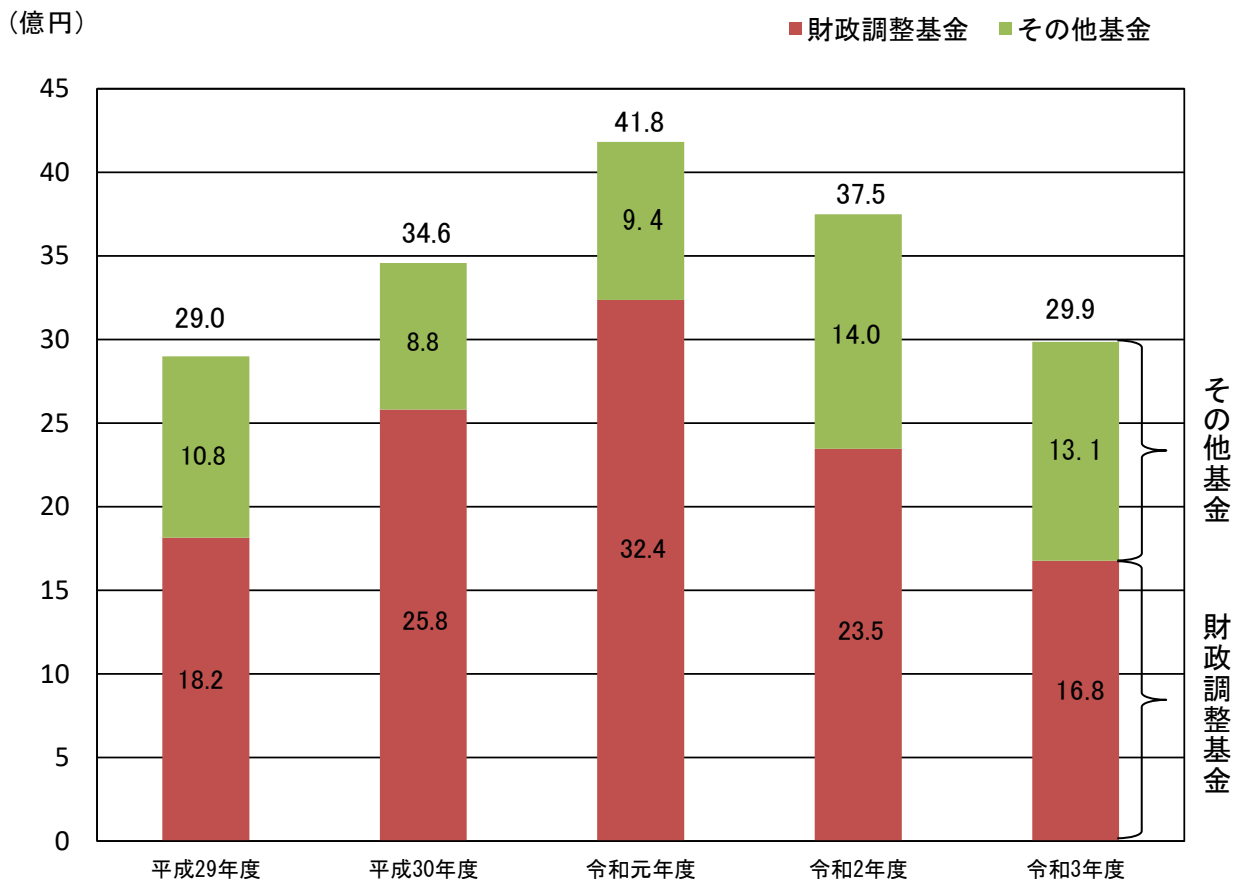
○基金の状況（一般会計）

一般会計の基金全体の現在高は、平成29年度以降、増加が続いていましたが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症への対策として、財政調整基金を取り崩したため、令和2年度末では、37億4,927万円となる見込みです。

令和3年度末では、市税等の減収により不足する財源について、財政調整基金の取り崩しにより対応するため、7億6,415万円減（△20.4%）の29億8,512万円を見込んでいます。

財政調整基金は、年度間の財政の不均衡を調整し、不足の財政需要に備え積み立てる、いわゆる「市の貯金」としての機能を有することから、今後も不測の事態に柔軟に対応できる適正残高の確保に努めます。

【基金現在高の推移及び推計】



※令和元年度までは各年度末実績、令和2年度及び3年度は年度末見込み

(5) 令和3年度の主な取り組み

命と暮らしを守る事業

1 感染症の拡大防止

新型コロナウイルスワクチン接種の実施

【9億7,816万円】★新規事業

医療機関との連携により万全の体制を整え、国からワクチンの提供があり次第、診療所などの医療機関による「個別接種」と総合体育館での「集団接種」を安全かつ迅速に実施します。



ワクチン集団接種訓練

2 災害に強いまちづくり

(1) 室川の護岸整備、堀水路などの維持管理【9,453万円】

室川の護岸整備や堀水路などの適切な維持管理を行い、近年多発する集中豪雨への対策を強化します。

(2) 防災マップ・ハンドブックの リニューアルと監視カメラ付き 水位計の設置

【1,919万円】★新規事業

迅速かつ適切な避難行動をとれるよう、防災マップ・ハンドブックをリニューアルするとともに、市が管理する河川や水路の状況を確認できる監視カメラ付き水位計を新たに5か所設置します。



防災マップ・ハンドブック

「ふるさと秦野」を磨き上げる事業

1 表丹沢の魅力づくり

(1) 「表丹沢魅力づくり構想」の推進【808万円】

登山やサイクリングのほか、食や農業体験、歴史文化遺産巡りなどを組み合わせ、1年を通じて表丹沢の魅力が体験できる仕組みや利用者の視点に立った総合ホームページを構築することで、誰もが行ってみたいくなる「都心から近い山岳・里山アクティビティの聖地」としてブランド化し、全国屈指の森林観光都市を目指します。

(2) ヤビツ峠レストハウスの運営・活用【216万円】★新規事業

令和3年3月に完成したヤビツ峠レストハウスを新たな拠点として、ヤビツ峠のPRと登山ツアーといったイベントなどを通じて、地域の活性化を図ります。



ヤビツ峠レストハウス

2 小田急線4駅周辺のにぎわいづくり

(1) 震生湖の散策路整備など【4,007万円】

湖畔から四季折々の風景などを楽しむことができる、安全な散策路の整備を進めるとともに、歴史的な震災遺構の解説板を設置します。

(2) 桜並木の魅力向上【3,007万円】★新規事業

適切な維持管理を行い、はだの桜みちや弘法山、頭高山、みずなし川緑地など、市内全域にわたる桜の名所の魅力向上を図ります。

(3) 東海大学前駅北口の整備など【3億5,636万円】

東海大学前駅北口にエレベーターとエスカレーターを設置するとともに、駅につながる市道9号線と65号線の整備を行い、安全で快適な歩行空間を整えます。



東海大学前駅北口広場（完成イメージ）

総合計画前期基本計画に掲げた基本目標に沿った事業

1 誰もが健康で支えあうまちづくり

(1) 小児医療体制の拡充【2,500万円】

小児科医の増員により、医療体制が拡充される秦野赤十字病院を支援します。

(2) 公立認定こども園のICT化【438万円】★新規事業

公立認定こども園にタブレット端末等を導入し、保護者との連携機能を強化するほか、保育教諭の事務負担を軽減し、教育・保育の質の更なる向上に取り組めます。

(3) 市内9か所目となる「ほけっと21」の開設【4,064万円】

現在8か所ある子育て支援センター「ほけっと21」について、就園前の子どもと保護者がより身近な地域で支援を受けられるよう、未開設の地域において、新たに1か所、出張形式による交流の場を開設します。



「ほけっと21」活動風景

2 生涯にわたり豊かな心と健やかな体を育むまちづくり

(1) 中学校給食の完全実施【8億4,394万円】

令和3年12月の開始に向け、環境整備を進めるとともに、実施に当たり、地産地消の取組みを推進することで、地域経済の好循環を促進します。また、保護者の利便性向上などのため、公会計制度を導入します。



(2) 学力向上に向けた「新たな学びプロジェクト」の展開【645万円】

学力向上アドバイザーの招へいや企業のノウハウを生かした公民連携による授業改善に取り組めます。また、学習意欲を支える力となる非認知能力の育成や寺子屋方式による放課後学習支援を実施します。

(3) ICTを活用した教育の推進【5,970万円】

「GIGAスクール構想」により、児童生徒に一人1台の情報端末を配置したことを受け、教職員への技術的支援を行うICT支援員を配置するとともに、デジタル教科書の導入に向けた環境整備を推進します。

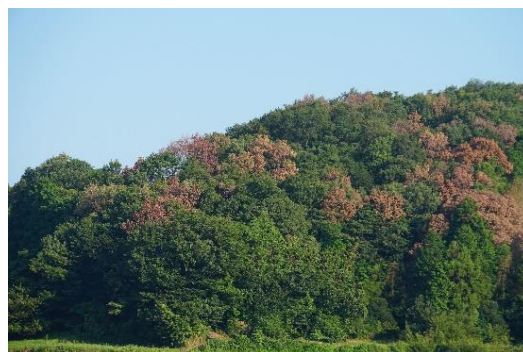
3 名水の里の豊かな自然と共生し安全・安心に暮らせるまちづくり

(1) 鳥獣被害等の課題解決に向けた

里山林整備の調査

【550万円】★新規事業

森林の公益的機能の向上及び鳥獣被害やナラ枯れ等の課題解決に向け、里山林整備の調査を実施します。



ナラ枯れした里山林（赤い部分）

(2) 伊勢原市との消防指令センター共同運用への準備

【1,996万円】★新規事業

令和7年度からの消防指令事務の共同運用に向けた共同指令センターの整備に着手します。

(3) 地域防災力の強化【6,920万円】

老朽化が進む消防団車庫待機室の建替えや車両の更新を行います。また、団員の士気高揚と入団促進のため、消防団サポートショップの拡充や処遇の見直しを行います。

4 住みたくなる訪れたくなるにぎわい・活力あるまちづくり

(1) 新たなネットワークの形成の推進【4,112万円】

新東名高速道路秦野SA（仮称）スマートICから市街地へのアクセス性を高める構想路線及び並行する矢坪沢の整備に向けた測量を実施します。

(2) 中小企業者への支援拡充【6,910万円】

新型コロナウイルス感染症の影響により事業資金の融資を受けた中小企業者を支援するため、利子補給を拡充します。また、事業者の新製品や新技術の研究開発を支援します。

(3) 空家を活用した「移住お試し住宅」の実施【448万円】★新規事業

ゆとりある暮らしを求める方を対象に、テレワーク等をしながら短期間滞在し、本市の魅力を体感していただく、空家を活用した「移住お試し住宅」モデル事業を実施し、移住・定住につなげていきます。



自然豊かな本市での生活を体験

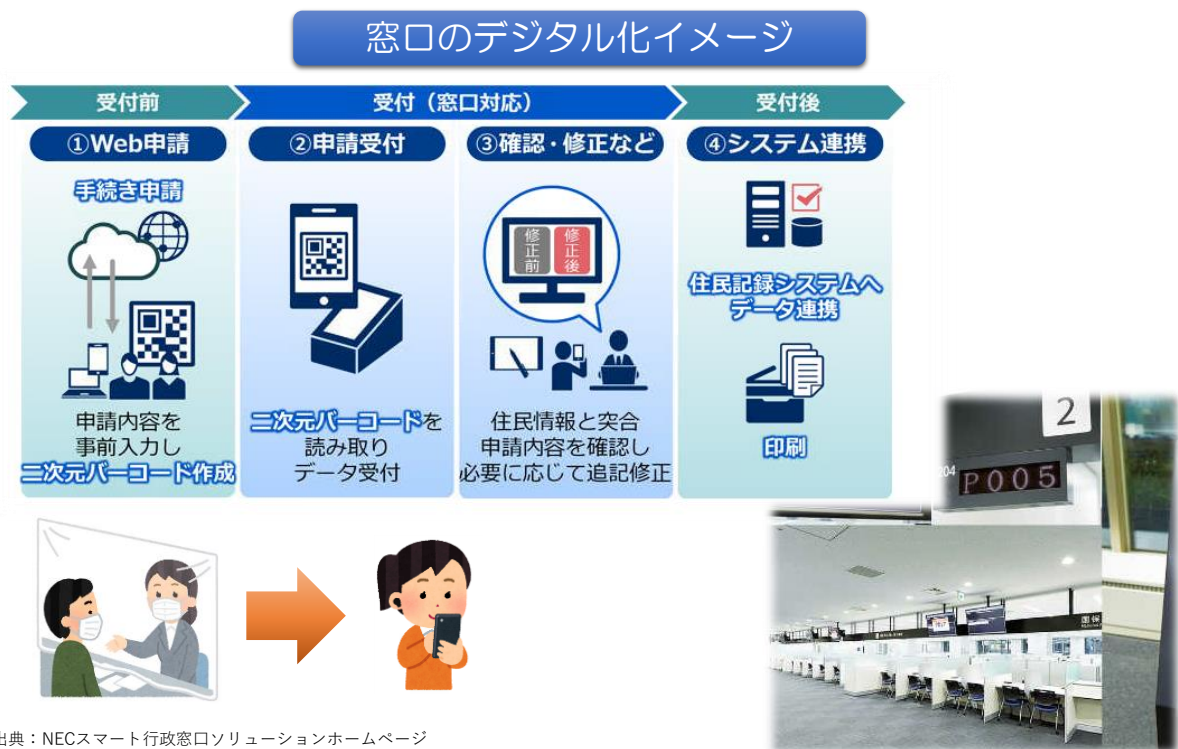
5 市民と行政が共に力を合わせ創るまちづくり

(1) 多様な担い手による協働の推進【800万円】★新規事業

新総合計画に定める地域まちづくり計画を推進する支援体制を強化するため、市内8地区に「まちづくりコーディネーター」を配置するとともに、まちづくり交付金を拡充します。

(2) 市役所の電子化によるデジタルトランスフォーメーションの推進【2,385万円】

インターネットを利用した申請や届出事務を拡充し、窓口に来庁することなく、いつでも、どこでも必要な手続きが行える市役所を目指します。また、指定道路台帳等の閲覧用図面の電子化を進めることで、市民サービスの向上と窓口業務の効率化を図ります。



窓口のデジタル化イメージ

4 水道事業会計予算の状況

業務予定量を給水戸数7万8,400戸、年間総給水量1,908万7千立方メートル、1日平均給水量5万2,293立方メートルと定め、予算規模を対前年度比10.6%減の32億3,000万円としました。

1 収益的収入及び支出

(1) 収入

(単位：千円)

款 項	令和3年度	令和2年度	比較増減	伸 率 (%)	構 成 比 (%)	
					令和3年度	令和2年度
1 水道事業収益	2,729,311	2,827,793	△ 98,482	△ 3.5	100.0	100.0
1 営業収益	2,313,979	2,433,763	△ 119,784	△ 4.9	84.8	86.1
2 営業外収益	415,286	394,017	21,269	5.4	15.2	13.9
3 特別利益	46	13	33	253.8	0.0	0.0

(2) 支出

(単位：千円)

款 項	令和3年度	令和2年度	比較増減	伸 率 (%)	構 成 比 (%)	
					令和3年度	令和2年度
1 水道事業費用	2,622,880	2,664,293	△ 41,413	△ 1.6	100.0	100.0
1 営業費用	2,439,065	2,477,407	△ 38,342	△ 1.5	93.0	93.0
2 営業外費用	159,776	163,768	△ 3,992	△ 2.4	6.1	6.1
3 特別損失	3,039	2,118	921	43.5	0.1	0.1
4 予備費	21,000	21,000	0	0.0	0.8	0.8

2 資本的収入及び支出

(1) 収入

(単位：千円)

款 項	令和3年度	令和2年度	比較増減	伸 率 (%)	構 成 比 (%)	
					令和3年度	令和2年度
1 資本的収入	578,762	551,967	26,795	4.9	100.0	100.0
1 企業債	524,900	400,000	124,900	31.2	90.7	72.5
2 工事負担金	37,499	16,985	20,514	120.8	6.5	3.1
3 固定資産売却 代金	1	1	0	0.0	0.0	0.0
4 基金繰入金	14,352	18,000	△ 3,648	△ 20.3	2.5	3.2
5 その他資本的 収入	2,010	99,981	△ 97,971	△ 98.0	0.3	18.1
補助金	—	17,000	△ 17,000	皆減	—	3.1

(2) 支出

(単位：千円)

款 項	令和3年度	令和2年度	比較増減	伸 率 (%)	構 成 比 (%)	
					令和3年度	令和2年度
1 資本的支出	1,490,787	1,823,929	△ 333,142	△ 18.3	100.0	100.0
1 建設改良費	944,557	1,308,715	△ 364,158	△ 27.8	63.4	71.7
2 企業債償還金	524,967	503,107	21,860	4.3	35.2	27.6
3 基金積立金	20,263	10,155	10,108	99.5	1.3	0.6
4 予備費	1,000	1,000	0	0.0	0.1	0.1
その他資本的 支出	—	952	△ 952	皆減	—	0.0

5 公共下水道事業会計予算の状況

業務予定量を水洗化戸数6万1,200戸、年間総処理水量1,502万7,000立方メートル、1日平均処理水量4万1,170立方メートルと定め、予算規模を対前年度比5.0%減の52億4,700万円としました。

1 収益的収入及び支出

(1) 収入

(単位：千円)

款 項	令和3年度	令和2年度	比較増減	伸 率 (%)	構 成 比 (%)	
					令和3年度	令和2年度
1 下水道事業収益	5,215,399	5,541,896	△ 326,497	△ 5.9	100.0	100.0
1 営業収益	2,879,495	3,009,704	△ 130,209	△ 4.3	55.2	54.3
2 営業外収益	2,335,822	2,532,154	△ 196,332	△ 7.8	44.8	45.7
3 特別利益	82	38	44	115.8	0.0	0.0

(2) 支出

(単位：千円)

款 項	令和3年度	令和2年度	比較増減	伸 率 (%)	構 成 比 (%)	
					令和3年度	令和2年度
1 下水道事業費用	4,834,569	5,026,431	△ 191,862	△ 3.8	100.0	100.0
1 営業費用	4,278,344	4,412,905	△ 134,561	△ 3.0	88.5	87.8
2 営業外費用	534,212	590,747	△ 56,535	△ 9.6	11.1	11.8
3 特別損失	1,013	1,779	△ 766	△ 43.1	0.0	0.0
4 予備費	21,000	21,000	0	0.0	0.4	0.4

2 資本的収入及び支出

(1) 収入

(単位：千円)

款 項	令和3年度	令和2年度	比較増減	伸 率 (%)	構 成 比 (%)	
					令和3年度	令和2年度
1 資本的収入	799,613	978,459	△ 178,846	△ 18.3	100.0	100.0
1 企業債	673,700	816,200	△ 142,500	△ 17.5	84.3	83.4
2 他会計補助金	29,956	34,602	△ 4,646	△ 13.4	3.7	3.5
3 国庫補助金	90,920	100,500	△ 9,580	△ 9.5	11.4	10.3
4 負担金等	3,439	17,881	△ 14,442	△ 80.8	0.4	1.8
5 固定資産売却 代金	1	1	0	0.0	0.0	0.0
6 その他資本的 収入	1,597	9,275	△ 7,678	△ 82.8	0.2	1.0

(2) 支出

(単位：千円)

款 項	令和3年度	令和2年度	比較増減	伸 率 (%)	構 成 比 (%)	
					令和3年度	令和2年度
1 資本的支出	2,938,517	3,096,185	△ 157,668	△ 5.1	100.0	100.0
1 建設改良費	824,363	993,200	△ 168,837	△ 17.0	28.1	32.1
2 企業債償還金	2,113,055	2,101,808	11,247	0.5	71.9	67.9
3 その他資本的 支出	99	177	△ 78	△ 44.1	0.0	0.0
4 予備費	1,000	1,000	0	0.0	0.0	0.0

6 国民健康保険事業特別会計予算の状況

平成30年度から、制度改革により県が財政運営の主体となり、市は県に国保事業費納付金を納付し、県からの交付金等を財源として、国民健康保険被保険者の病気、けが、出産及び死亡に関して保険給付を行います。

また、この会計では、40歳から74歳までの方を対象とした特定健診・特定保健指導及び一日人間ドック受検料の一部助成など、保健事業を行うために必要な経費を計上しています。

国保加入世帯数を2万4,000世帯、被保険者数を3万7,000人と想定し、予算総額を対前年度比1.8%減の170億2,000万円としました。

1 歳入

(単位：千円)

款	令和3年度	令和2年度	比較増減	伸率(%)	構成比(%)	
					令和3年度	令和2年度
1 国民健康保険税	2,936,082	3,304,348	△ 368,266	△ 11.1	17.3	19.1
2 国庫支出金	1	1	0	0.0	0.0	0.0
3 県支出金	12,081,651	12,274,072	△ 192,421	△ 1.6	71.0	70.9
4 財産収入	1	1	0	0.0	0.0	0.0
5 繰入金	1,964,511	1,702,772	261,739	15.4	11.5	9.8
6 繰越金	1	1	0	0.0	0.0	0.0
7 諸収入	37,753	42,805	△ 5,052	△ 11.8	0.2	0.2
歳入合計	17,020,000	17,324,000	△ 304,000	△ 1.8	100.0	100.0

2 歳出

(単位：千円)

款	令和3年度	令和2年度	比較増減	伸率(%)	構成比(%)	
					令和3年度	令和2年度
1 総務費	337,776	380,379	△ 42,603	△ 11.2	2.0	2.2
2 保険給付費	11,930,960	12,145,106	△ 214,146	△ 1.8	70.1	70.1
3 国民健康保険事業費納付金	4,528,067	4,564,796	△ 36,729	△ 0.8	26.6	26.3
4 共同事業拠出金	5	5	0	0.0	0.0	0.0
5 保健事業費	192,850	204,593	△ 11,743	△ 5.7	1.1	1.2
6 基金積立金	1	1	0	0.0	0.0	0.0
7 公債費	21	21	0	0.0	0.0	0.0
8 諸支出金	20,320	19,099	1,221	6.4	0.1	0.1
9 予備費	10,000	10,000	0	0.0	0.1	0.1
歳出合計	17,020,000	17,324,000	△ 304,000	△ 1.8	100.0	100.0

7 介護保険事業特別会計予算の状況

40歳以上の方が納める介護保険料及び国・県・市の負担金等を財源とし、介護が必要な方に訪問介護等の在宅サービスや特別養護老人ホーム入所等の施設サービスを提供するために必要な保険給付を行います。

第8期秦野市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画では、第1号被保険者数を49,039人、要介護等認定者数を7,338人と想定し、予算総額を対前年度比1.9%増の129億300万円としました。

1 歳入

(単位：千円)

款	令和3年度	令和2年度	比較増減	伸率(%)	構成比(%)	
					令和3年度	令和2年度
1 保険料	3,030,345	3,106,746	△ 76,401	△ 2.5	23.5	24.6
2 使用料及び手数料	100	205	△ 105	△ 51.2	0.0	0.0
3 国庫支出金	2,389,472	2,270,632	118,840	5.2	18.5	17.9
4 支払基金交付金	3,314,656	3,258,184	56,472	1.7	25.7	25.7
5 県支出金	1,863,019	1,838,257	24,762	1.3	14.4	14.5
6 財産収入	555	299	256	85.6	0.0	0.0
7 繰入金	2,303,993	2,184,767	119,226	5.5	17.9	17.3
8 繰越金	1	1	0	0.0	0.0	0.0
9 諸収入	859	909	△ 50	△ 5.5	0.0	0.0
歳入合計	12,903,000	12,660,000	243,000	1.9	100.0	100.0

2 歳出

(単位：千円)

款	令和3年度	令和2年度	比較増減	伸率(%)	構成比(%)	
					令和3年度	令和2年度
1 総務費	301,957	317,450	△ 15,493	△ 4.9	2.3	2.5
2 保険給付費	12,016,728	11,800,480	216,248	1.8	93.1	93.2
3 地域支援事業費	573,050	537,363	35,687	6.6	4.5	4.3
4 保健福祉事業費	6,752	0	6,752	皆増	0.1	0.0
5 基金積立金	555	299	256	85.6	0.0	0.0
6 公債費	21	21	0	0.0	0.0	0.0
7 諸支出金	2,937	3,387	△ 450	△ 13.3	0.0	0.0
8 予備費	1,000	1,000	0	0.0	0.0	0.0
歳出合計	12,903,000	12,660,000	243,000	1.9	100.0	100.0

8 後期高齢者医療事業特別会計予算の状況

後期高齢者医療広域連合への保険料等負担金や事務費及び後期高齢者医療制度被保険者を対象とする人間ドック受検料の一部助成を行うために必要な経費を計上しています。

75歳以上及び65歳以上で一定の障害がある後期高齢者医療制度被保険者数を23,444人と想定し、予算総額を対前年度比3.3%増の25億4,600万円としました。

1 歳入

(単位：千円)

款	令和3年度	令和2年度	比較増減	伸率(%)	構成比(%)	
					令和3年度	令和2年度
1 後期高齢者医療保険料	2,013,478	2,006,191	7,287	0.4	79.1	81.4
2 繰入金	427,180	421,989	5,191	1.2	16.8	17.1
3 繰越金	92,000	33,000	59,000	178.8	3.6	1.3
4 諸収入	13,342	3,820	9,522	249.3	0.5	0.2
歳入合計	2,546,000	2,465,000	81,000	3.3	100.0	100.0

2 歳出

(単位：千円)

款	令和3年度	令和2年度	比較増減	伸率(%)	構成比(%)	
					令和3年度	令和2年度
1 総務費	94,856	100,562	△ 5,706	△ 5.7	3.7	4.1
2 後期高齢者医療広域連合納付金	2,362,622	2,339,398	23,224	1.0	92.8	94.9
3 保健事業費	22,884	18,825	4,059	21.6	0.9	0.7
4 諸支出金	63,638	4,215	59,423	1,409.8	2.5	0.2
5 予備費	2,000	2,000	0	0.0	0.1	0.1
歳出合計	2,546,000	2,465,000	81,000	3.3	100.0	100.0

9 資料

1 人口及び世帯数（令和3年4月1日現在）

（平成27年国勢調査確定値に、毎月の住民基本台帳登録の異動を加減し推計した数値です。）

- (1) 人口総数 163,736人
- (2) 世帯数 72,758世帯
 1世帯当たり 2.25人

《参考》

年齢別住民基本台帳人口（令和3年3月末日現在）

年 齢	人 口	構 成 比	内 訳			
			男		女	
			人 口	構 成 比	人 口	構 成 比
0～14歳	17,878人	11.2%	9,281人	11.5%	8,597人	10.8%
15～64歳	93,131人	58.2%	48,670人	60.6%	44,461人	55.8%
65歳～	48,959人	30.6%	22,406人	27.9%	26,553人	33.4%
合 計	159,968人	100.0%	80,357人	100.0%	79,611人	100.0%

地区別人口及び世帯数

区分	人 口			世帯数
	計	男	女	
本 町	21,213	10,658	10,555	9,891
南	32,663	16,255	16,408	14,319
東	15,932	7,962	7,970	7,058
北	13,258人	6,714人	6,544人	5,651世帯
大根・鶴巻	36,736	18,603	18,133	18,711
西	38,213	19,181	19,032	17,227
上	1,953	984	969	905
市 計	159,968人	80,357人	79,611人	73,762世帯

2 面積

- (1) 総面積（令和3年4月1日現在） 103.76 Km²
- (2) 都市計画区域別面積
- ・市街化区域面積 24.38 Km²
 - ・市街化調整区域面積 79.38 Km²
- (3) DID（人口集中地区）区域別面積（平成27年10月1日の国勢調査による。）
- ・DID区域内面積 22.57 Km²
 - ・DID区域外面積 81.19 Km²
- (4) 地目別面積（令和2年1月1日現在固定資産概要調書による。）

単位：Km²

田	畑	宅地	山林	原野	ゴルフ場	鉄道用地	雑種地	その他
2.06	12.41	17.73	14.86	1.86	2.49	0.28	2.96	49.10

※国土地理院による、面積の計測方法が変更となったため、総面積とは一致しない。

3 水道事業の概要

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
給水人口(人)	166,199	165,685	165,126	164,634	163,866

4 公共下水道普及状況

区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
行政区域人口(人)：A		162,325	161,792	161,230	160,730	159,968
処理区域内人口(人)：B		141,592	141,962	142,174	141,701	140,680
水洗化人口(人)：C		127,041	127,376	128,147	128,983	129,037
普及率	$\frac{\text{処理区域人口}}{\text{行政区域人口}} (\%) \frac{B}{A}$	87.2	87.7	88.2	88.2	87.9
	$\frac{\text{水洗化済人口}}{\text{処理区域人口}} (\%) \frac{C}{B}$	89.7	89.7	90.1	91.0	91.7

※行政区域人口は、各年度末の住民基本台帳による。

5 国民健康保険加入状況

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
全世帯数（世帯）	71,352	71,982	72,601	73,381	73,762
加入世帯数（世帯）	26,112	25,388	24,699	24,384	24,264
全人口（人）	162,325	161,792	161,230	160,730	159,968
被保険者数（人）	42,611	40,699	38,824	37,788	37,302

※世帯数・人口は、各年度末の住民基本台帳による。

6 介護保険加入状況

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
全人口（人）	162,325	161,792	161,230	160,730	159,968
第1号被保険者数（人） （65歳以上）	45,356	46,399	47,179	48,061	48,771
要介護等認定者数（人）	5,989	6,472	6,677	6,952	7,129

※人口は、各年度末の住民基本台帳による。

7 後期高齢者医療保険加入状況

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
全人口（人）	162,325	161,792	161,230	160,730	159,968
被保険者数（人）	19,021	20,209	21,431	22,427	23,045

※人口は、各年度末の住民基本台帳による。

8 ごみと資源物の収集状況

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
可燃ごみ（t）	40,349	39,017	37,405	34,818	34,442
不燃・粗大ごみ（t）	1,919	1,934	2,019	2,162	2,481
資源物（t）	7,977	8,211	9,159	11,449	11,700
計（t）	50,245	49,162	48,583	48,429	48,623

※市が収集、処理したごみ・資源物の総量

9 学校別児童生徒数 (令和3年4月5日現在)

(1) 小学校

区分	本町	東	南	北	大根	西	上	広畑	渋沢
男(人)	391	309	585	394	240	331	37	79	388
女(人)	372	260	569	338	254	305	31	53	329
計(人)	763	569	1,154	732	494	636	68	132	717

区分	末広	南が丘	堀川	鶴巻	合計
男(人)	259	306	251	398	3,968
女(人)	273	288	230	382	3,684
計(人)	532	594	481	780	7,652

(2) 中学校

区分	本町	東	南	北	大根	西	南が丘	渋沢	鶴巻
男(人)	388	145	263	197	195	313	180	206	205
女(人)	339	129	287	179	183	284	200	189	210
計(人)	727	274	550	376	378	597	380	395	415

区分	合計
男(人)	2,092
女(人)	2,000
計(人)	4,092



予算のあらまし
令和3年度（2021年度）

令和3年4月15日発行
秦野市 政策部 財政課
TEL 82-5116（直通）